

技術調査の確認リスト【確認項目表(2):「テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的確認が必要な事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
1)「テーマ別の計画提案」に示した項目		
①-1.臨場感あふれる観覧席に関する考え方		
1)臨場感に関する工夫は確保されているか？ 可動席によるものか？		
2)ラグビー、サッカー、及び陸上競技のいずれにおいても可能か？		
3)スポーツ競技以外の利用についても効果的な提案がされているか？		
①-2(可動席等に関すること)		
1)可動席は物理的、機構的に実現可能と想定できるものか。		
2)可動席の設定範囲はほぼ適切といえるものか(極端に偏る等していないかなど)		
3)可動席の運営に過大な費用を要する内容となっていないか。		
4)可動席を利用していない時の雰囲気には支障はないか。		
5)トラック等床面の養生等無理な方法となっていないか。		
①-3(その他大掛かりな機構の提案はないか)		
(例:ピッチの分割、移動など(札幌ドームの芝面))あれば部位を記す		
・①-2と同様のチェックを行う		
・		
②-1.観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセスに関する考え方		
1)方面別の動線処理の配慮がなされているか？ (人数分担の考え方は適切か？)		
2)駅からスタジアムまでのアクセスについて提案がなされているか？		
3)車(貴賓、選手、来客、報道、サービス)動線および駐車場配置の考え方は適切か？		
4)博物館・図書館、商業施設など集客賑わい施設への動線について効果的な提案がされているか？		
5)オリンピック等大規模なイベント時のアクセス等について効果的な提案がされているか？		
・		
②-2.観客等の入退場動線処理に関する考え方		
1)入場時の動線処理について配慮されているか？ 適切か？		
2)退場時の動線処理について配慮されているか？ 適切か？		
3)災害発生時等緊急時の避難動線についての配慮されているか？		
4)災害発生時の避難場所としての機能や動線等について配慮されているか？		
・		

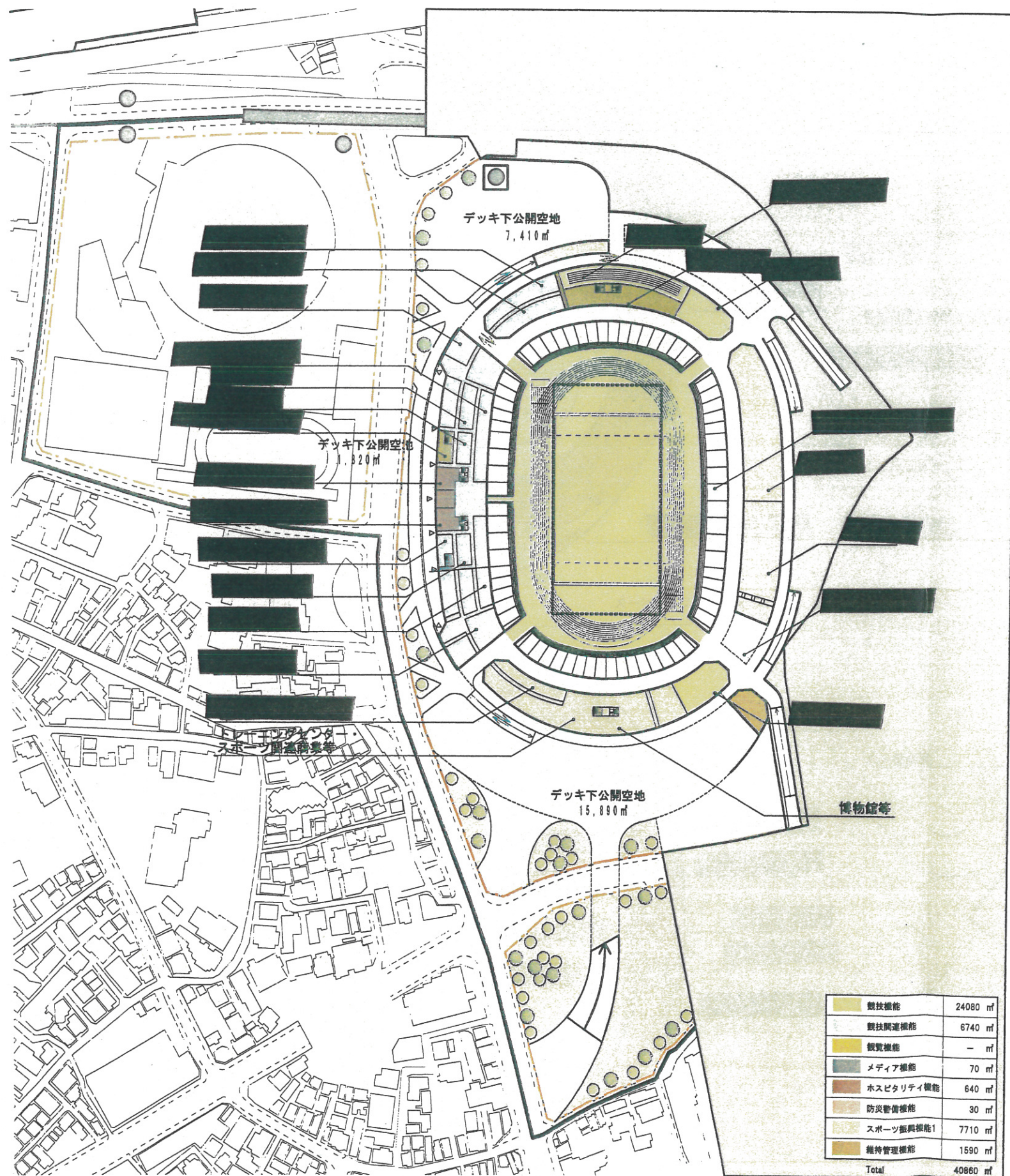
確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
③-1ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(音響環境)		
1)イベント利用時の音響環境(建築音響・電気音響)について効果的な提案がされているか		
2)イベント利用時の遮音や振動について考慮されているか		
3)屋根の開閉に対応した音響環境を考慮しているか		
.		
③-2ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方(事業計画)		
1)ホスピタリティ機能について効果的な提案がされているか?		
2)管理運営・事業面に係る提案がされているか?		
3)スポーツ以外の文化的利活用について具体のイメージや実施方法等の提案があるか?		
4)イベントの無い時の商業・文化等の機能の提案、具体の展開イメージについて記載があるか		
.		
④.環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)		
1)最先端の環境技術を備える提案や具体の記述が実現性をもってなされているか?		
2)エネルギーの多重化など非常時の設備的対応について提案されているか		
3)ランニングコストや管理方法等について配慮されているか		
4)大空間(観覧席やコンコース)の空調等の記載があるか?(実現性や効果は期待出来るか)		
.		

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
⑤-1.構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方(構造計画)		
1)全体的に大空間を支えられる現実的な構造となっているか		
2)開閉機構を支える屋根架構は、技術的に可能な提案となっているか		
3)開口面積等は芝の管理に影響が大きいが、そのことに関する配慮はなされているか		
4)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか		
.		
⑤-2.屋根の架構及び開閉機構に関する考え方(屋根開閉機構)		
1)開閉式屋根の機構提案は、構造的、技術的に実現可能か		
2)過大な建設費用を要することとなっていないか		
3)特殊な構造によりランニングコストや管理方法等について過大なものとなっていないか		
.		
⑥-1.事業費(建物本体／外構部分)に関する考え方(事業費)		
1)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか(可動屋根)		
2)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか(可動席)		
3)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか(外装・地下の範囲)		
4)工事費及び維持管理費が過大にならないよう配慮されているか(環境配慮)		
5)全体的に想定価格に納まっていると言えるか		
.		
⑥-3.施工性や工期に関する考え方(工期)		
1)工期を要する特殊な要素がないか(地下・特殊構造など)		
2)現場に工事ヤードを広く必要とする工法となっていないか(ヤードの確保は難しい)		
3)設定工期での実現や工事の影響を低減するために効果的な工法の提案はあるか		
4)入手が困難な材料や機器等の使用はなされていないか		
.		

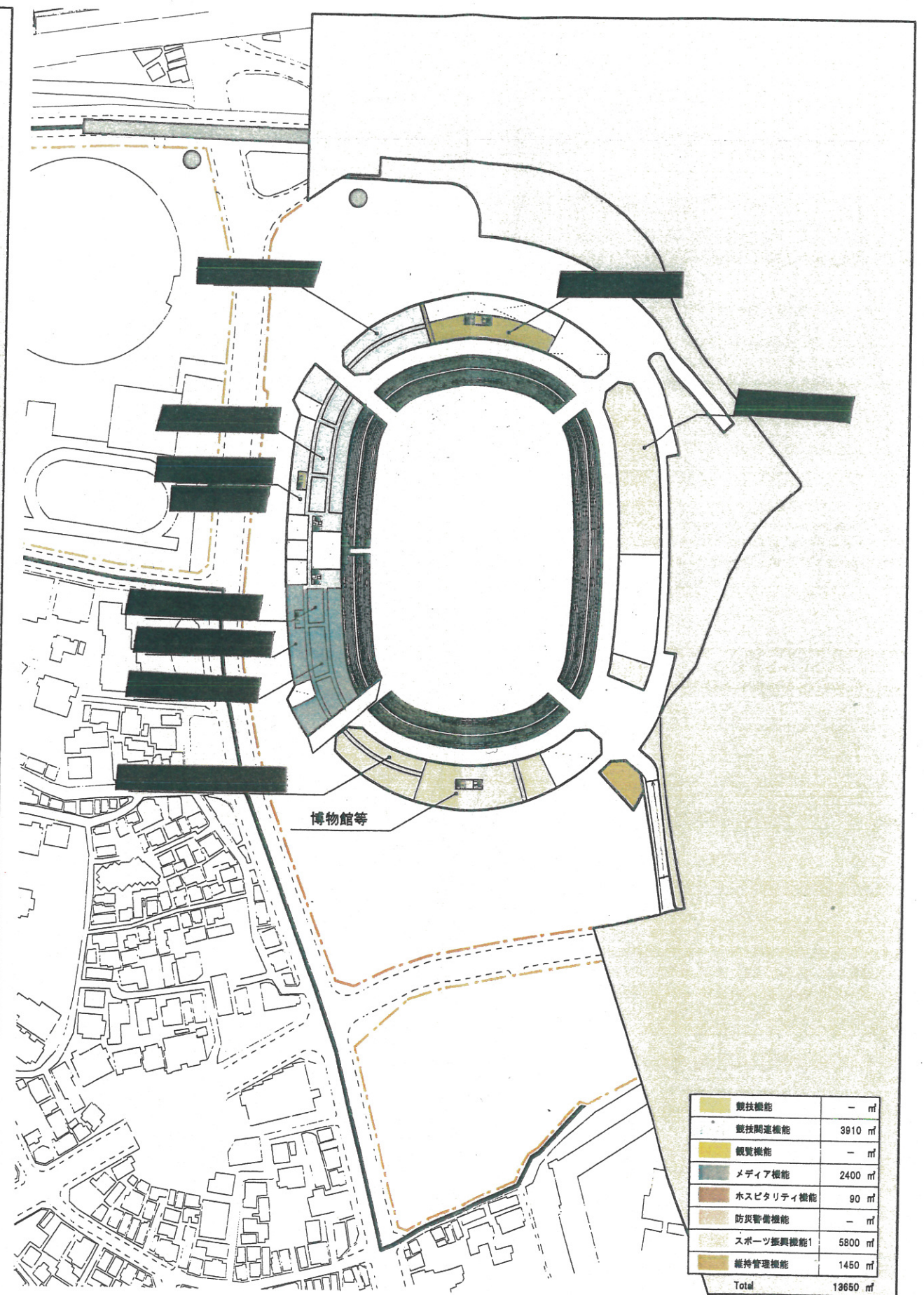
技術調査の確認リスト【確認項目表(1):「Ⅱ.デザイン提案条件」に規定している事項】

確認事項	確認結果 (○・△・×)	所見
2)「Ⅱ. デザイン提案条件」に規定している事項		
施設建築物の配置(配置及び高さ)		
・スタジアムは施設建築範囲内に建築されているか		
・各位置における最高高さの制限は満たしているか		
・敷地境界線から8mの後退距離を確保しているか		
土地利用構成		
・規定の範囲内の土地利用がされているか		
・関連敷地に新たに建築建築物(人工地盤等の工作物を除く)を建築していないか		
・東京体育館の既存施設を撤去していないか		
・交通の妨げになるような工作物等を設置していないか		
施設構成		
・規定の施設構成(導入機能と規模)が確保されているか		
・ラグビー、サッカー、陸上競技等の関連規定を満たすフィールドが設けられているか		
スタジアムへのアクセス		
・周辺駅からの安全で明解な動線整備に応じた計画となっているか		
・アクセスに配慮した場所にゲートが配置されているか		
・車両アクセスは都道418号(外苑西通り)側に設置されているか		
・サービス車両のアクセスが計画されているか		
・サブトラック、投てき練習場からの移動を考慮した競技者動線が計画されているか		
公園の再配置及び公開空地の確保		
・既設公園と同規模以上の面積を各区の範囲内に確保しているか(渋谷区:約22,000㎡、新宿区:約12,000㎡)		
・「公園の再配置が可能な範囲」内に公園が配置されているか		
・敷地面積の40%以上の公開空地が確保されているか		
・歩行者等にとって快適で良好な位置に設けられているか		
・「公開空地の確保が可能な範囲」内に公開空地が配置されているか		
緑化・環境配慮・防災対策		
・積極的に緑化を導入しているか		
・積極的に省エネルギー技術を導入しているか		
・周辺の安全確保に貢献する計画とされているか		
・災害時の施設活用(備蓄庫等)、電力の多重化措置などが計画されているか		
その他、法令等に抵触することが明らかな事項等		
・適切な避難計画にもとづいた計画になっているか		
・その他あきらかに法令に抵触する事項があるか		
・		
・		

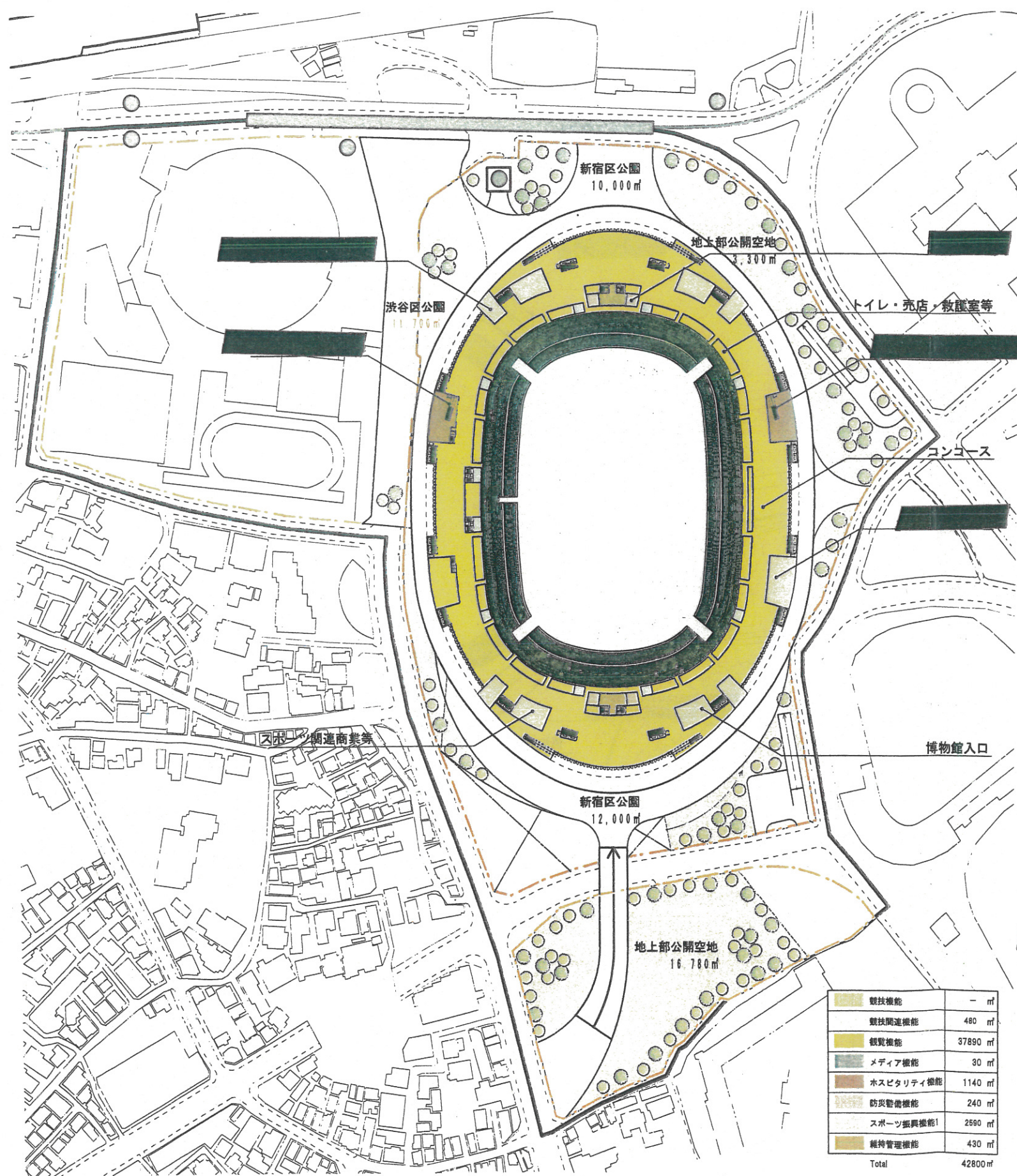
新国立競技場荒設計検討案（本体敷地への導入規模等の確認）



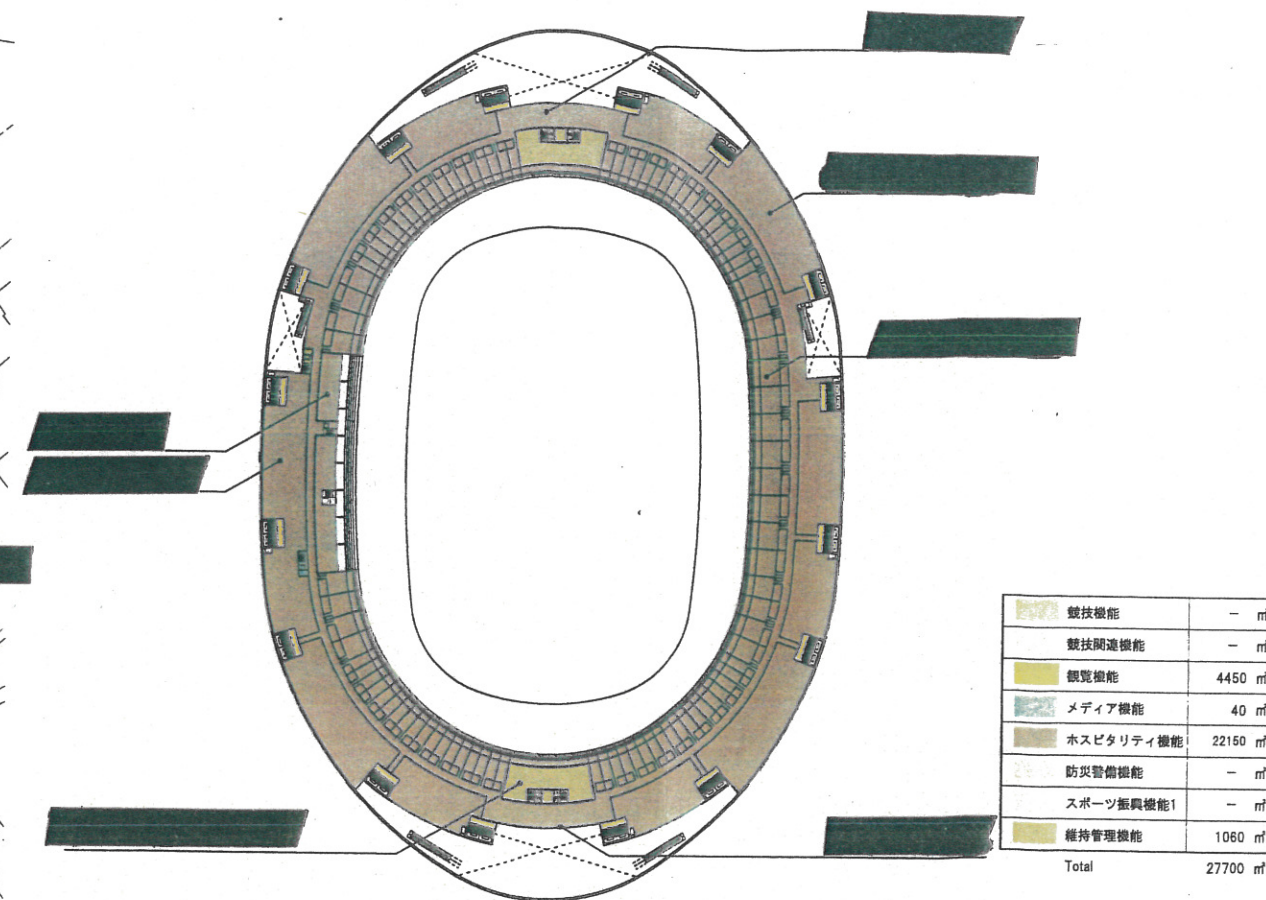
1階平面図 1/3000



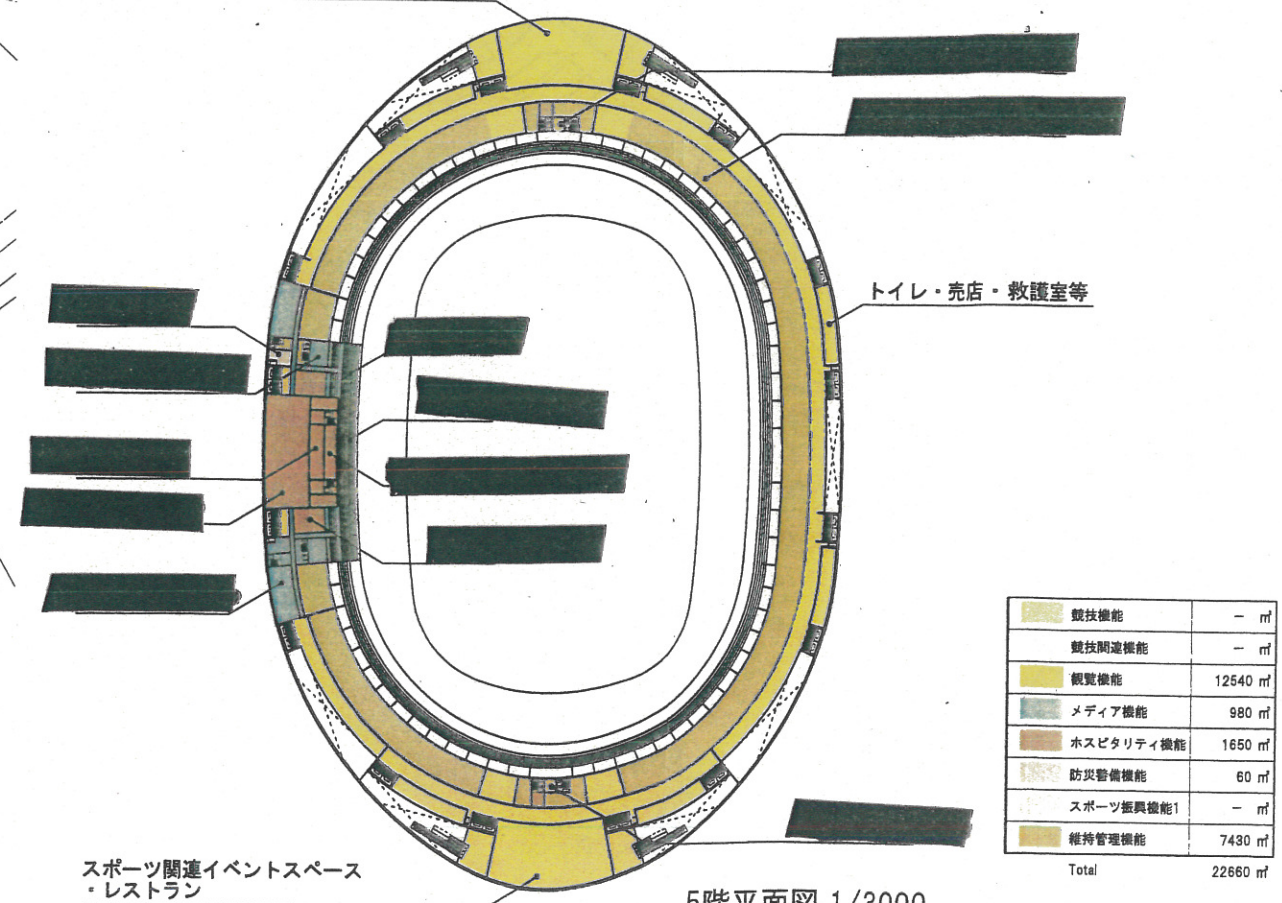
2階平面図 1/3000



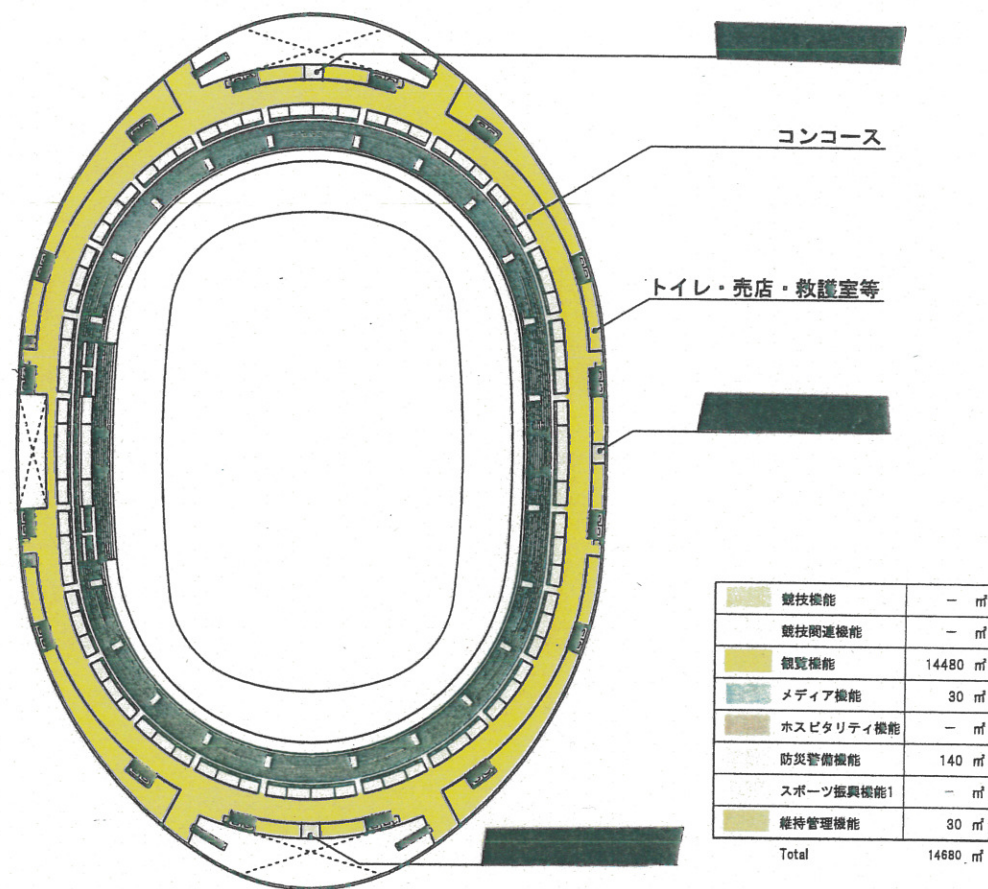
3階平面図 1/3000



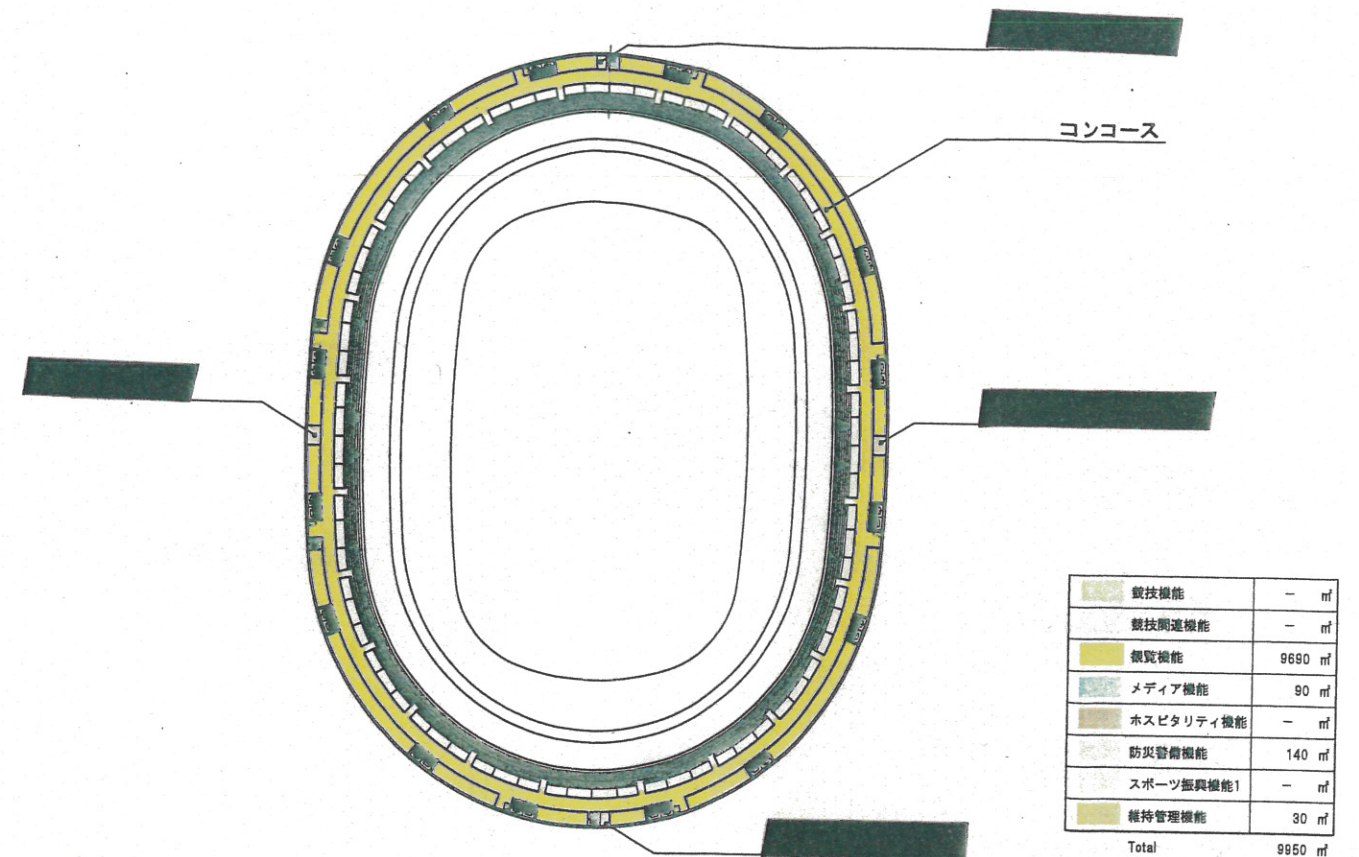
4階平面図 1/3000



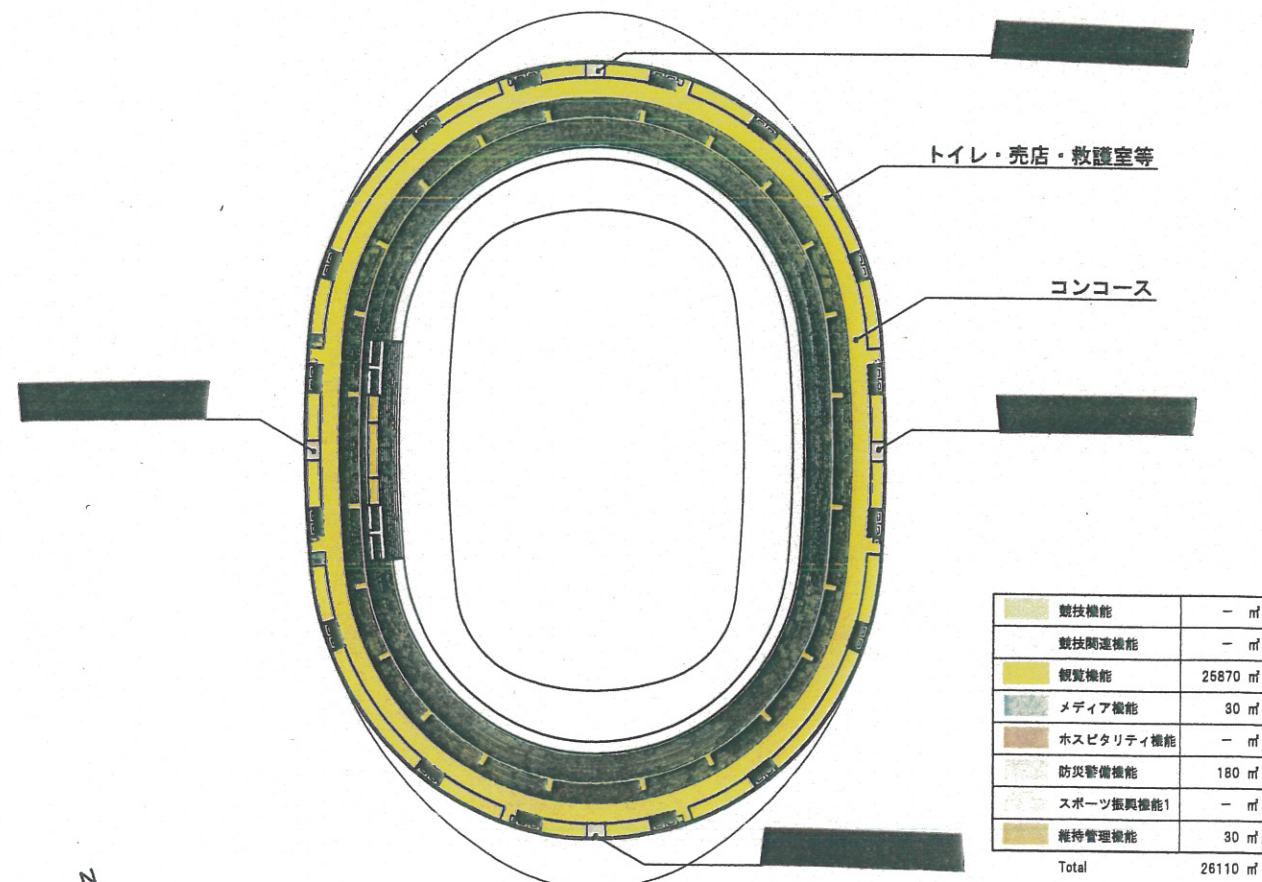
5階平面図 1/3000



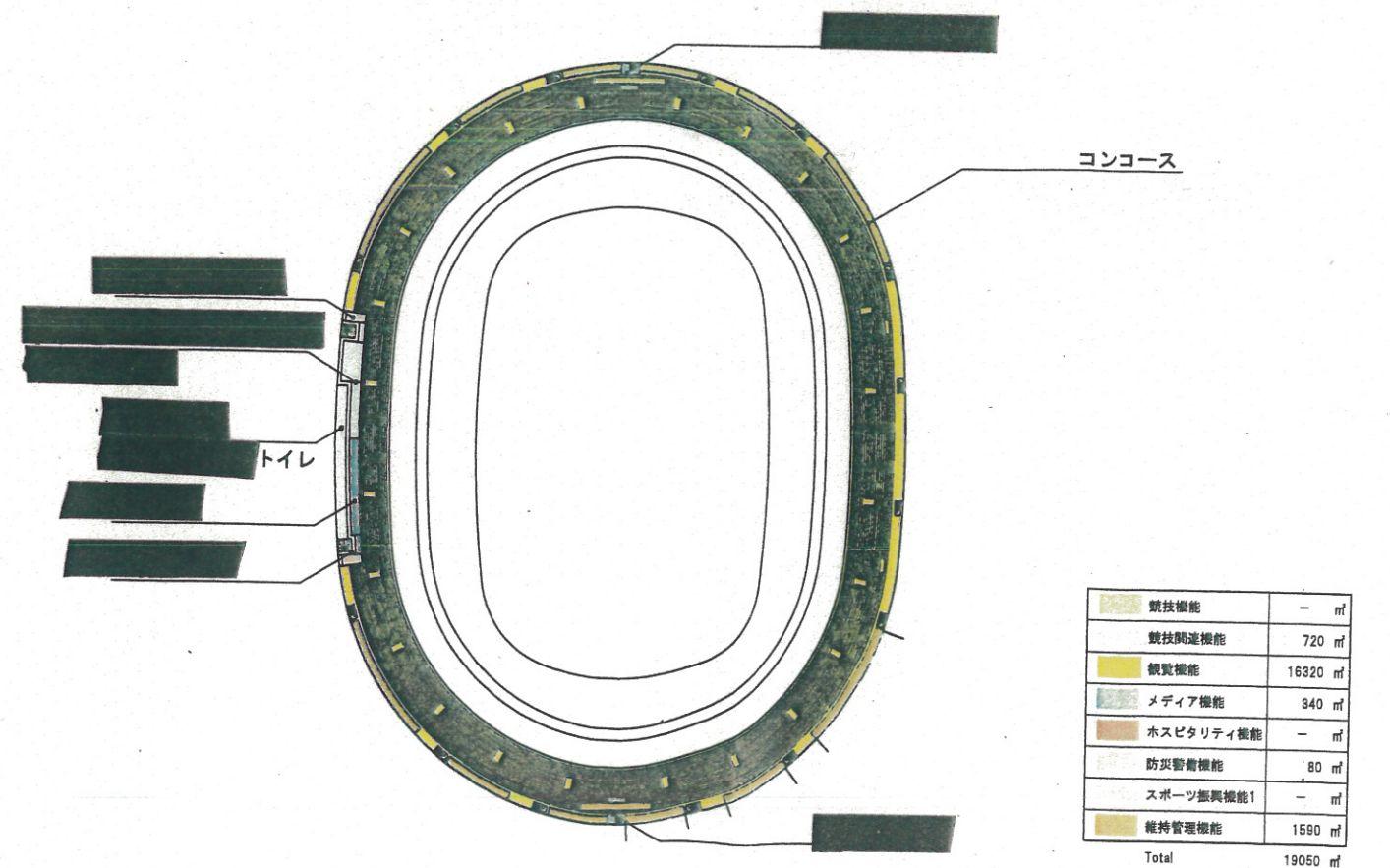
6階平面図 1/3000



8階平面図 1/3000

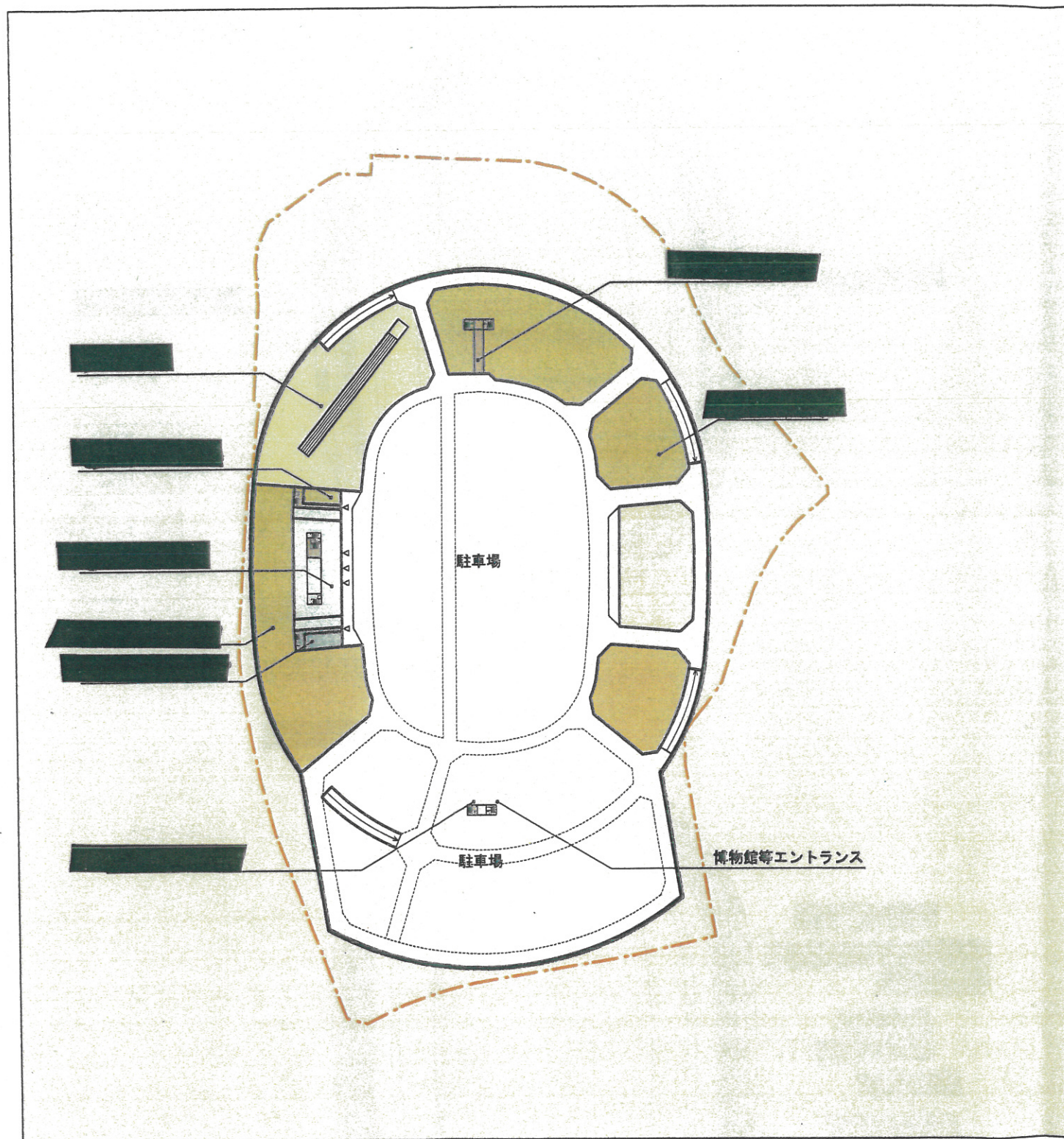


7階平面図 1/3000



9階平面図 1/3000





地下1階平面図 1/3000

競技機能	6910 m ²
競技関連機能	1700 m ²
観覧機能	— m ²
メディア機能	280 m ²
ホスピタリティ機能	280 m ²
防災警備機能	— m ²
スポーツ振興機能1	2910 m ²
維持管理機能	15140 m ²
Total	26280 m ²
駐車場	46000 m ²